

# 仙台別院で炊き出し 温かい食事に喜び広がる

電気は復旧したものの、豚汁と簡易米、別院職員の断水とガスの不通、同仏婦らが用意したおにぎり300食が、仙台別院境内で3月14日、振る舞われた(写真)。「被災された皆さんに温かいご飯を食べたいだこう」と復旧支援隊と東北教区現地緊急災害対策本部が、炊き出しを実施。支援隊が持参した缶詰の

した様子で笑顔をみせていた。

近隣マンションに住む女性「目立った被害のない市街地では逆に物資が行き届かず、家には備蓄していた食料がわずかにあるだけ。震災以降、3日ぶりに温かい食事をいただき体中にぬくもりが

炊き出しは16日にも行われ、雪が舞う荒天の中、150人が凍え

被災者の中には、別院の様子を写した写真付きメ

ールで友人に炊き出しを知らせる人や、次の実施予定を訪ねる人もあり、被災地の切実な食糧不足とさらなる支援の必要性を感じさせた。

